

ひえだの
タウンタイムズ

葦田野町の人口

総 数	2, 358
男 性	1, 129
女 性	1, 229
世帯数	1, 234

令和 4 年 12 月 1 日現在

令和五年を迎えて

自治会長 竹岡 敏

令和 5 年も早や 3 月を迎えました。町民の皆様にはお健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は自治会運営に温かいご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

令和 5 年になり、「コロナと共生」する生活に移りつつありますが、物価や電気代等の値上げが相次ぎ、暮らしづらさを感じる世の中になりました。ロシアによるウクライナ侵攻は激しさを増すばかりで停戦にほど遠く、多くの人が犠牲になり、過酷な避難生活を強いられています。一刻も早く平和な日々が戻ることを願わずにはいられません。

しかし、スポーツ界では新年早々、精華高校が全国高校バスケットボール大会で見事に優勝し、東山高校が全国サッカー大会で準優勝、全国女子駅伝大会で京都チームが準優勝する等、元気をもらい、明るい出来事が続きました。今年にはウサギ年、ウサギのようにびよん、びよんと飛躍できる年になることを期待しています。

1 月に実施された亀岡市議会議員選挙では新しく大石慶明さんと原野実生子さんが当選されました。葦田野町も人口減少や少子・高齢化等の大きな課題を抱え、これからのまちづくりを進めていく上で、お二人の市議会議員さんには自治会の良きパートナーとして、ご指導・ご支援をいただきたいと思います。

4 月からは令和 5 年度になります。この 3 年間は思うように行事ができず、町民の皆さんが集い、親睦交流を深めていただく機会がありませんでしたが、今年度こそは行事が滞りなく実施でき、町民の皆さん同士のコミュニティの増進が図れるように精一杯努力していきたいと考えています。

引き続き温かいご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

民生委員・児童委員の紹介

民生委員・児童委員が令和 4 年 12 月 1 日付で交代されましたので紹介します。

芦ノ山・西佐伯地区	石山耐子さん (再任)
下佐伯地区	桂 尚美さん (再任)
上佐伯地区	新田節子さん (再任)
柿花地区	麻田明美さん (再任)
奥条地区	井木恵子さん (新任)
太田地区	栗山典子さん (再任)
天川地区	鈴木郁子さん (新任)
主任児童委員	前田博彦さん (再任)
今回、二人の方が交代され、七人の方が引き続きお世話になることになりました。	高田厚子さん (再任)

退任された太田地区の松本たかよさんは 3 年間、鹿谷地区の竹岡泉さんは 6 年間お世話になりました。心から厚くお礼申し上げます。

新しく着任された太田地区の鈴木郁子さん、鹿谷地区の井木恵子さんには大変お世話になります。よろしくお願いします。

中部保育所園児達の自治会訪問

今年も 11 月 19 日に中部保育所の園児達が来てくれました。かわいい子ども達の嬉しい訪問にとってもホットな気分になりました。11 月 23 日の勤労感謝の日に合わせて来てくれて、今年も手作りの素敵なプレゼントをいただきました。

第 8 回京都・亀岡ハーフマラソン
大会「おもてなし応援隊」

新型コロナウイルスの感染拡大により、中止されていたハーフマラソン大会が 3 年ぶりに開催されました。亀岡運動公園競技場をスタートして国道 372 号線走るランナーを応援するために「おもてなし応援隊」を実施しました。

スタート地点から 2 km 付近の人権福祉センターでは、南桑中学校吹奏楽部の生徒さんが応援演奏をしていただきました。

また、スタート地点から 3 km 付近の柿花地内にある(株)プロダクツ・ケイ前では亀岡作業所の皆さんが手作りの横断幕を掲げ、太鼓演奏による応援をしていただきました。

選手を応援するために、自治会役員の皆さんには朝早くから準備していただき、南桑中学校吹奏楽部や亀岡作業所の皆さんの協力で「おもてなし応援隊」が 3 年ぶりに実施でき、感謝しています。



歩いて知ろう稗田野町!!「心の教育」 若宮神社めぐりと餅つき大会

12月18日、寒い朝でしたが晴天に恵まれ、3年ぶりに心の教育事業「若宮神社めぐりと餅つき大会」を開催しました。

当日は亀岡市長桂川孝裕様、亀岡市教育委員会教育長神先宏彰様、京都府議会議員田中英夫様、亀岡市議会議員赤坂マリア様がご臨席いただき、小学生や幼児の皆さんも100名近く参加してくれて盛大に開会式を執り行うことができました。

子ども達は開会式後、若宮神社に行き、総代の福島さんから神社の歴史や源義経の腰かけ岩のお話を聞き、先生によるクイズをして楽しいひと時を過ごしました。小学校では老人クラブや民生委員・児童委員、消防団や体振の皆さんが手際よく30臼の餅つきをしました。若宮神社から戻ってきた子ども達も元氣よく杵を振り上げて餅つきを楽しみ、つきたてのお餅をきな粉や醤油につけ、みんなでおいしく食べました。交通安全協会や防犯推進連絡協議会の稗田野支部の皆さんには安全確保や子ども達の誘導をしていただき、ありがとうございました。



一年を締めくくる恒例の年末特別警戒

令和4年を締めくくる恒例の年末特別警戒を実施しました。

12月28日と29日の二日間、午後9時から深夜0時まで稗田野生涯学習センターにおいて、自主防災会と防犯推進委員連絡協議会稗田野支部の皆さん、稗田野駐在所大喜多警部補さん達で行いました。消防団稗田野分団は午後9時から翌日の午前2時まで自治会館と各区の詰め所で行いました。亀岡市議会議員赤坂マリアさんも参加していただきました。

28日午後10時25分頃に亀岡市から石野茂副市長、山本由美子市議会副議長、田中英夫府議会議員の皆さん達が激励巡回に来ていただき、石野副市長から激励の挨拶受けました。

その後、我々も各区の年末警戒状況を巡回して回りましたがどの区も熱心に年末警戒を行っていたことができました。ご協力いただき、ありがとうございました。

下佐伯区で拍子木を持って巡回されている様子を見て、子どもの頃に拍子木を持って「火の用心、マッチ一本火事の元」と言いながら回っていたことを思い出して、懐かしくなりました。

今年は稗田野町で2件の大きな火事がありました。消防団の懸命な消火活動で延焼を最小限に食い止めていただいたお陰で、大火には至らなかったのは幸いです。

令和5年は火事や風水害等の大きな災害のない穏やかな一年でありますように願っています。



稗田野町地区社会福祉協議会

稗田野町認知症サポーター養成講座 (太田区ふれあい声かけ訓練)

11月20日(日)、太田区集会所において約40人の区民の方に参加していただき、稗田野町認知症サポーター養成講座(太田区ふれあい声かけ訓練)を開催しました。認知症の症状(真冬なのに薄着のまま歩いている高齢者、大雨の中を傘もささずに急ぐ様子もなく歩いている高齢者等)を6パターン設定し、住民等が優しく声をかけるポイントを学びました。

参加者は歩調を合わせながら自宅の場所や行先を尋ね、同じ目線で話しかける事の難しさを実感していました。



寄せ植え講習会

12月23日(金)、3年ぶりに「世代交流事業」寄せ植え講習会を開催しました。今年も講師上西正次氏の指導の下、正月用花づくり寄せ植えを行いました。参加された皆さんは久しぶりの寄せ植え講習会を楽しみにしていた様です。



友愛訪問



今年度も民生委員・児童委員の皆様にお世話になって、お一人暮らしの高齢者(84名)の皆様にご食料品セットをお届けする「友愛訪問」を行いました。

民生委員・児童委員の皆様には日頃から家庭訪問を通じて高齢者の健康状態の把握に尽力されており、地区社協としても今後も友愛活動をはじめとして事業を継続していく所存ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。

亀岡市消防団稗田野分団

令和5年消防出初式

令和5年1月8日(日)午前7時から稗田野町自治会館前駐車場にて「稗田野町消防分団出初式」を実施しました。

当日は早朝にもかかわらず、竹岡自治会長をはじめ、多くの方々のご来賓出席の下、厳粛に執り行われました。今後も太田分団長を先頭に「稗田野町の生命・財産を守る決意」を新たにしました。



稗田野町老人クラブ

健康ウォーキング

稗田野町老人クラブ主催による健康ウォーキングを開催しました。11月8日(火)、稗田野町自治会に参加者24名が集合し、神蔵寺さんまで一時間少し歩きました。神蔵寺ではきれいな紅葉を見て、住



続いて午前9時より、亀岡中学校体育館で開催された「亀岡市消防出初式」に自主防災会、消防分団からコロナ感染対策のため少数精鋭にて参加、式典においては当分団から6名の表彰を受賞しました。式典終了後は参加全分団による一斉放水を南郷公園で実施しました。

本年も、消防団活動に精一杯取り組みますのでご支援・ご協力をお願いするとともに消防団員増加の取り組みにもご協力をよろしくお願い致します。

※表彰者氏名は次の通りです。

○京都府消防協会長表彰

精勤章 分団長 太田 翼(鹿谷区)

精勤章 団員 桂 隆之(上佐伯区)

団員 大谷仙学(上佐伯区)

団員 鈴木理広(太田区)

団員 成田秀光(柿花区)

○京都府知事表彰

精励章 班長 大西尚人(天川区)

職さんのお話を聞き、お弁当をいただいて楽しい一日を過ごしました。



小学校玄関前花壇の花植え



12月12日(月)午前10時より稗田野小学校玄関前花壇の花植えをしました。クリスマス、卒業式、入学式に向けて、美しいパンジーの花が子ども達の喜びになればと思います、老人会では昨年より200株の花植えを頑張っています。

鹿谷区

「鹿谷いきいきファーム」活動報告



令和4年11月27日(日)鹿谷いきいきファームが地域活性化の取り組みとして、醸造用米の作付けによる耕作放棄田の解消と合わせ、今年度新たな挑戦として秋じゃが収穫の取り組みを実施されました。事前の「秋じゃがオーナー募集」に対し、たくさんの応募があり、927㎡の作付け面積に約1800株の種芋(品種…デジマ)を植え付けました。収穫当日はお天気にも恵まれて小春日和の中、鹿谷区内、稗田野町内、地元以外からたくさんの方の参加されました。大きく生育したジャガイモの収穫を行い、収穫したジャガイモをその場でじゃがバターにしておいしくいただくなど、ジャガイモ掘り体験を楽しんでおられました。

◆いきいきファームのコンセプト

『わが地域の農地は地域で守り、困難な状況が発生すれば、お互い助け合い、地域の絆を作り上げる』

天川区

天川とんど大会



1月9日、天川子ども会主催で3年ぶりのとんど大会が朝8時より、子ども会をはじめ各種団体の皆様のご協力の下、盛大に行われました。当日は子ども達の書初めが天まで届くような勢いの中、寒さを忘れるぐらい、みんな大喜びでした。

また、その火を使って恒例のお餅を焼き、区民の皆さんも美味しくいただきました。



稗田野町青少年健全育成協議会

令和4年11月27日(日)、各区役員さん並びに自治会、子ども会、PTAの協力を得て今年度4回目の廃品回収を実施しました。新聞紙、段ボール、雑誌等で得た収益金は小学校の図書本、コミュニティスクールの活動資金等で学校教育、社会文化事業に役立てたいと思います。

また、10月23日にはコロナ禍によって実施できなかった美化活動を三年ぶりに実施しました。空き缶やビンその他、たばこの吸い殻、スナック菓子の包装等が多く捨てられていました。多くのごみを区内の皆さんで集めていただき、ありがとうございます。地域の皆様へ感謝申し上げます。今後も青少年育成協議会の活動へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



稗田野小学校コミュニティスクール 推進委員会

さわやかロードマラソン大会

11月16日、マラソンには絶好の日の中、第14回稗田野町さわやかロードマラソンが開催されました。当日はコロナ禍ということもあり、子ども達だけのマラソンとなりましたが、沿道での地域の方の声援やゴール間近で待つ子ども達や保護者の方からの「がんばれ」「あと少し」のかけ声、そして頑張った仲間への大きな拍手などが響き、懸命に走る子ども達の背中を押していました。

ロードマラソン当日までに子ども達は体育の授業やパワーアップタイムでマラソンの練習を積んできました。そして今年度はダイハツ陸上部の木崎良子選手に来ていただいて走ることや楽しさやコツを教えていただき、走ることに自信をつけていきました。それでもやっぱりマラソンが苦手だと感じている子どももいます。マラソンは最後は自分との闘いでもあります。そんな中、あきらめずに取り組むことや自分の目標に挑むことで子ども達は大きく成長しました。それはゴール後の子ども達の表情からもうかがえました。

稗田野小学校の子ども達の素敵なところは仲間の頑張りを精一杯讃えることができることです。このさわやかロードマラソンでもその姿がたくさん見られ、子ども達の素敵がひと際輝いた日となりました。



稗田野町子ども心の教育推進委員会

「心の教育」人権研修会

令和5年2月4日午後1時30分から、令和4年度「心の教育」人権研修会を稗田野小学校体育館を会場にして開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大により、過去2年間は開催できませんでした。本年、3年ぶりの開催となりました。寒い中ではありましたが、亀岡市教育委員会教育長神先宏彰様、

亀岡市議会議員赤坂マリア様、亀岡市教育委員会社会教育課長樋口竜次様にご臨席いただき、神先教育長からご挨拶をいただきました。また、亀岡市長桂川孝裕様からお祝いのメッセージをいただき、稗田野小学校の藤井教頭先生に披露していただきました。まず初めに、6年生による「狂言」を発表していただきました。この狂言の取り組みは「日本の伝統文化に触れ、その特徴や面白さを学ぶ」ことを目的に、稗田野小学校の6年生が伝統的に引き継いできているものです。

6年生の子ども達が狂言独特の足の運びやせりふの言い回しで「口真似」という題目を面白おかしく発表してくれました。続いて、人権作文の発表を行いました。発表者は次の通りです。

○「ありがとうの気持ち」

稗田野小学校1年 篠塚 結さん

○「ともだちのいいところ見つけ」

稗田野小学校2年 吉岡 稀妃さん

○「わたしの人権月間」

稗田野小学校3年 齋藤 真央さん

○「今年もいっぱいありがとうBOX」

稗田野小学校4年 吉岡 暖司さん

○「人権月間をふりかえって」

稗田野小学校5年 奥 結香さん

○「心と意思をどう伝える?」

稗田野小学校6年 黒木 詩さん

○「一面だけで判断せず、深く考えて」

南桑中学校1年 沖野 舜さん

○「戦争の意味」

南桑中学校2年 堤 翔矢さん

○「平和のバトン」

南桑中学校3年 佐藤 春佳さん

どの発表もよく考えられていて、聞き手に話しかけるようにはっきりとした口調で発表してくれました。素晴らしい子ども達の発表でした。

最後は亀岡市人権教育啓発指導員の戸根武志さんが「ネット上の差別問題の現状」と題して講演をしていただきました。改めて、人権について考え合う一日となりました。



稗田野小学校

未来を担う子ども達による佐伯大城山植樹祭

亀岡市森林組合主催により、稗田野財産区が管理する佐伯大城山で稗田野小学校5年生が参加して、「未来を担う子ども達による佐伯大城山植樹祭」が行われました。

この事業の目的は、

①身の回りの森林の働きに気づき、その役割を気候変動等SDGsとの関連でとらえることができるようにする。

②自分で木を植えることにより、樹木を身近に感じ、その成長に興味関心を持つ。

③森林整備の重要性について考えることができる。

第一部（プロローグ）

初めに、小学校で協賛の森林整備センター近畿北陸整備局の皆さんによる紙芝居「これであなただも森林博士」が行われ、山の木の働きや森林整備の大切さについて学習しました。

第二部（植樹）

バスに乗って、佐伯大城山に行きました。麓でヒノキ苗の育て方や植樹の仕方を学び、作業道を400mほど登り、植樹場所にいました。空気が冷たく感じました。ドローンで苗を運ぶ様子を見学し、子ども達は班ごとに苗を植えていきました。5年生の子ども達にとっては初めての体験で、新鮮な気持ちで植樹を楽しんでいる様子でした。



編集後記

令和4年度も3回の自治会だより「ひえだのタウンタイムス」を発行することができました。コロナ禍で十分に行事ができないうちでしたが貴重な原稿を提供していただいた各区・各種団体の皆様に厚くお礼申し上げます。

稗田野町は高齢化率が44.7%、後期高齢化率が25.9%と高く、少子・高齢化が進んでいますが、令和5年度の稗田野小学校の新入児童が14名で全校児童数が91名になることを聞き、嬉しくなりました。

子ども達から元気をもらい、笑顔で明るく暮らしていきたいものです。

編集委員

編集委員長

竹岡 敏

正信、西村 一郎

美馬 博幸、美馬 秀二

竹岡 正純

八木 正純

齊藤 元輝

山内 慎太郎

(コミュニティ推進員)

山内 慎太郎

